

～【新しい日常で注目】自転車の車道通行に関する調査～

**車道通行は危ないと思う自転車利用者 95.2%**

**一方で自転車の車道通行を定めた法律に関しては93.7%が認知**

au 損害保険株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長:山田隆章、以下、au 損保）は、全国の自転車利用者の男女 1,000 人を対象に、自転車の車道通行に関する調査を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、「3密（密閉、密集、密接）」を避けることを目的として改めて自転車通勤に注目が集まっています。

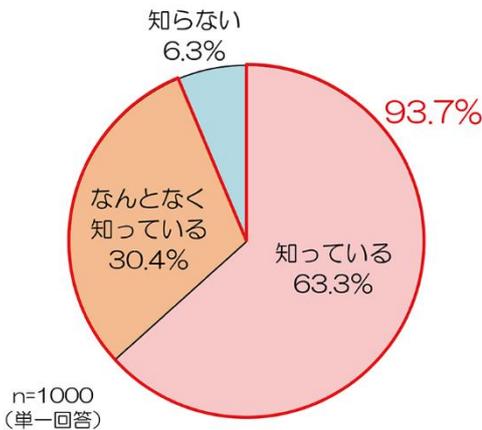
一方、自転車に乗る際には、自動車同様に多くの交通ルールが存在します。ルールの一つでは、一部例外を除き、自転車は歩道ではなく車道の左側を通行することが義務付けられていますが、街中で歩道や、車道の右側を走る自転車を見かける機会も多い状況です。

そこで、自転車向け保険を取り扱う au 損保が、自転車利用者が、自転車で車道の左側を通行することについてどのように考えているのかを調査しました。

●自転車で車道の左側を通行しなければならない法律を“知っている” 93.7%

道路交通法第 17 条、第 18 条により、原則<sup>(※)</sup>として自転車は、歩道と車道の区別のある道路では車道の中央から左側部分の左端を通行しなければならないと定められています。自転車利用者 1,000 人にこの法律を知っているかどうかを尋ねたところ（単一回答）、「知っている」63.3%（633 人）、「なんとなく知っている」30.4%（304 人）を合わせると、計 93.7%（937 人）となりました。

Q. 自転車は車道の左側を通行しなければいけませんがこのことを知っていますか？

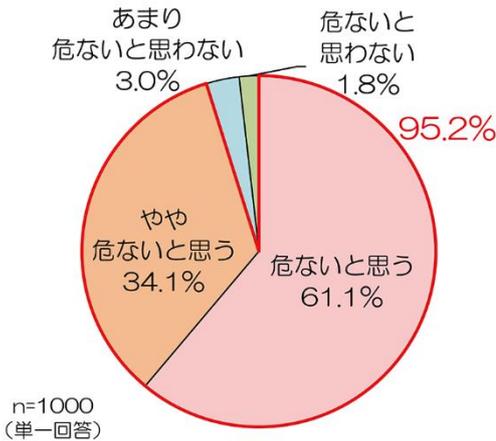


## ●自転車で車道を走ることを危ないと思う自転車利用者 95.2%

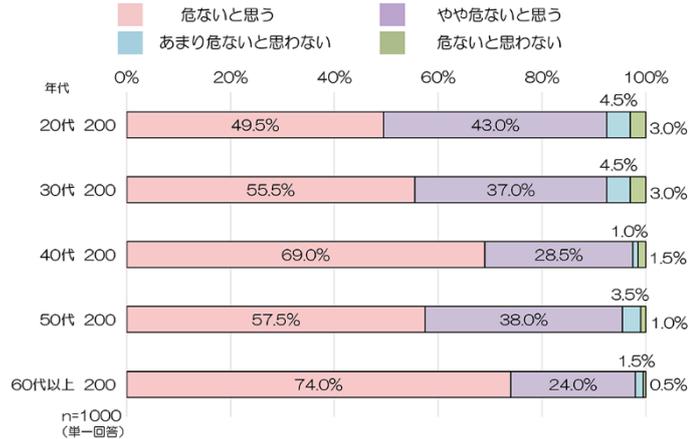
自転車利用者 1,000 人に、自転車で車道を走ることを危ないと思うかどうかを尋ねたところ（単一回答）、「危ないと思う」61.1%（611 人）、「やや危ないと思う」34.1%（341 人）を合わせると、計 95.2%（952 人）となりました。自転車は車道の左側を走らなければならないという法律を知っている自転車利用者が多数いる一方、大半の人が自転車で車道を走ることを危ないと思っていることが分かりました。

また、年代別に見てみると「危ないと思う」と答えた割合は、20代 49.5%（99 人）、30代 55.5%（111 人）、40代 69.0%（138 人）、50代 57.5%（115 人）、60代以上 74.0%（148 人）となりました。60代以上は20代よりも24.5ポイント高くなり、自転車で車道を走ることについて危険を感じている人が多いという傾向が出ました。

Q. 自転車で車道を走ることを危ないと思いますか？



Q. 自転車で車道を走ることを危ないと思いますか？  
～年代別～

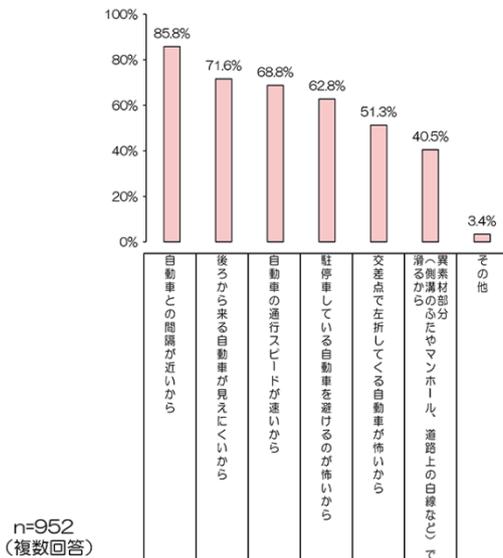


## ●自転車で車道を走ることを危ないと思う理由「自動車との間隔が近いから」 85.8%

自転車で車道を走ることを「危ないと思う」もしくは「やや危ないと思う」と答えた自転車利用者 952 人を対象に、危ないと思う理由を尋ねたところ（複数回答）、「自動車との間隔が近いから」が 85.8%（817 人）と一番多い結果となりました。次いで「後ろから来る自動車が見えにくいから」71.6%（682 人）、「自動車の通行スピードが速いから」68.8%（655 人）、「駐停車している自動車を避けるのが怖いから」62.8%（598 人）、「交差点で左折してくる自動車が見えにくいから」51.3%（488 人）、「異素材部分（側溝のふたやマンホール、道路上の白線など）で滑るから」40.5%（386 人）が続きました。

Q. 自転車で車道を走ることを危ないと思う理由は何ですか？

対象：自転車で車道を走ることを「危ないと思う」「やや危ないと思う」と答えた人



今回の調査では、自転車利用者の多くが、自転車は車道の左側を走らなければならないことを知っているものの、実際に自転車で車道を走ることに関しては、危ないと感じている人が大半だということが分かりました。

しかしながら、au 損保が 2020 年 3 月 26 日に発表した調査

(<https://www.au-sonpo.co.jp/corporate/news/detail-232.html>) においては、東京都の自転車事故未遂および自転車事故経験者 755 人にその発生場所を尋ねたところ(複数回答)、トップは「歩道」46.9%(354 人)、次いで「自転車専用レーンがない車道」31.4%(237 人)と、車道よりも歩道での事故の方が多という結果でした。

そこで、au 損保は、専門家の監修の元、自転車での車道通行と歩道通行の安全性を検証する実験を行うことを予定しています。

今後も au 損保は自転車保険の加入促進に努めると共に、安心して安全な楽しい自転車ライフの提供を目指してまいります。

以上

【調査概要】※au 損保調べ

調査方法：インターネットによるアンケート調査

対象者：自転車利用者

対象地域：全国

回答者数：1,000 人

実施時期：2020 年 7 月 3 日～2020 年 7 月 6 日

- ・n=母集団のデータの数
- ・本調査では小数点第 2 位以下を四捨五入しています。

※児童(6 歳以上 13 歳未満)や幼児(6 歳未満)、70 歳以上の者、身体障がい者が運転する場合や、標識などで指定された場合、やむを得ない交通状況の場合を除きます。

(参照)

6 月 4 日、au 損保は、「新しい日常」において重要な役割を果たすことが予測される自転車通勤について緊急事態宣言前の平常時(新型コロナウイルスの流行が始まる前)の実態調査を発表しています。

(<https://www.au-sonpo.co.jp/corporate/news/detail-237.html>)

また 7 月 10 日には、新型コロナが東京都の自転車通勤に及ぼした影響についての実態調査を発表しています。

(<https://www.au-sonpo.co.jp/corporate/news/detail-240.html>)

本リリースを保険募集のために使用することはご遠慮くださいますようお願いいたします。